

花きの県別生産出荷概況(5月見通し)

令和3年4月30日現在

出典:花き流通情報連絡協議会資料

品目	県名	作型	主要品種	出荷期 期間 (ピーク)	作付面積 ha (前年比)	出荷見込み		5月のピーク(%)			主産地	作柄及び概況
						出荷総数 千本 (前年比)	京浜地域向 千本 (前年比)	上旬	中旬	下旬		
バラ	茨城	周年 施設	サムライ アマダ アバランチ等	周年 ()	8 100%	500 100%	(%)	30	40	30	古河市 石岡市 茨城町等	<ul style="list-style-type: none"> ・生育は前進傾向。 ・ブライダル用スプレー品種から個人消費用スタンダード(一輪咲)品種への一部改植がみられる。

花きの県別生産出荷概況(5月見通し)

令和3年4月30日現在
出典:花き流通情報連絡協議会資料

品目		販売における現状と今後の見通し	
バラ	現状	高冷地が中旬以降増加してきて、例年より約2週間ほど早い状況。西南暖地はやや減少、5月の母の日に向けて増加していく(大田)。徐々に週末需要が回復傾向で水～金市は特定品種中心に動き良好に(FAJ)。やはり4月に入り相場は低迷。3月の高値反動もある(第一花き)。気温が低いため、出荷量も少なめ。落ち着いた相場展開(世田谷)。年出荷の産地は安定的な入荷。燃油高で冬場休眠していた品物は出遅れ気味で4月中下旬に一番花が出荷のピークを迎える見込み。販売はやや品薄感もありもちあいの相場展開(東日本板橋花き)。輸入物少なく月上旬は色々と引き合いもみられたが以降厳しい販売状況(東京FP)。	
	見通し	大田花き	前半、母の日あたりは輸入品、西南暖地は例年並みの入荷を見込むが、高冷地は減少気味。コロナ禍だが現状、例年よりブライダルが多めの見込み。
		FAJ	連休中のブライダルや母の日需要で前半は動き良くなる予想。
		第一花き	前半は母の日需要があるが、その後は入荷量次第か。
		世田谷花き	母の日に向け、需要が高まり、引き合いも強い。母の日後の婚礼需要に期待したいが状況次第か。
		東日本板橋花き	母の日と連休中の婚礼需要にむけて入荷量は一段増加傾向の見込み。販売はコロナ禍で若干の不安感が拭えない部分もあるがもちあいの相場展開か。
		東京フラワーポート	山形産中心の入荷となり現状出荷産地も潤沢な入荷見込、輸入は少ない見込み
アルストロメリア	現状	愛知、長野中心に、各産地数量増加したため、引き合い弱まり、単価は安値安定での取引となった。ブーケメーカー中心に数量を使用いただき、安定した販売となった。下旬に向け数量落ちてきたが、葬儀の動き少なく、白系は販売苦戦した(大田)。長野・山形出荷最盛期に。ロットのまとまった入荷続き、苦戦した販売続くも後半徐々に回復(FAJ)。愛知、山形、長野より入荷。4月に入り相場は低迷している(第一花き)。出荷量増える。例年通りの安値相場。前進出荷で下旬に向けて減る(世田谷)。愛知・青森・北海道中心の入荷。昨年並みの出荷量(東日本板橋花き)。月始めまでの相場感が不思議なくらい価格の落ち込みがある販売状況(東京FP)。	
	見通し	大田花き	母の日に向けて問合せもあり、旬は引き合い強まる。また、母の日以降引き続き、安定して数量纏まるため、単価落ち着いた取引となる見込み。
		FAJ	母の日需要で前半やや盛り上がる予想。ガーベラ同様、明けは改植進み数量落ちてく。
		第一花き	母の日に向けて若干出荷量は増えるが、今年は切り上がり早い分は落ち着いてくる。
		世田谷花き	中旬以降長野県産が、改植で減少。
		東日本板橋花き	愛知・青森・北海道中心の入荷。昨年並みの出荷量の予定。
		東京フラワーポート	各産地潤沢な入荷見込暖地産は母の日以降改植に入る